



週報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ 

2020-2021 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」
東京本郷ロータリークラブテーマ 「Move forward」

創立/平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局/〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話: 03-3238-5350 FAX: 03-3238-5352

インターネットホームページ: <http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp

例会: 毎週水曜日 12 時 30 分 例会場: ホテルメトロポリタンエドモント 電話: 03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長: 松岡 浩 副会長: 樺本健夫 会長エレクト: 熊井 寛 幹事: 篠崎陽一 会報委員長: 林 一好

7 月 29 日 第 1350 回例会

2020 年 7 月 29 日発行 (No. 1296)

本日の例会

第 1350 回例会

点鐘: 12:30 (30 分例会)

於: ホテルメトロポリタンエドモント
3F 春琴の間

次回の卓話 (8 月 5 日)

「大川周明」

元・米山奨学生 金 玄郁 様

紹介者 加藤利雄会員

7 月 15 日 第 1349 回例会報告

第 1 回 クラブフォーラム

テーマ「創立 30 周年を迎えて」

「内容を録音したデータが事務局にあります」

持ち回り理事会報告

創立 30 周年記念式典・事業の内容について承認された。

会長報告

1. 池田ゆかり会員の事業所「永島医科器械(株)」より、フェイスシールドを寄贈いただきました。
2. 本日、「創立 30 周年を迎えて」をテーマに第 1 回クラブフォーラムを行います。
短い時間ではありますが、皆様のお考えをお聞かせ下さい。

幹事報告

1. 東京荒川ロータリークラブより、例会場休館のため、7,8 月例会を休会とします、と連絡がありました。
また、ビジター受入自粛をしているクラブもありますので、メイクアップに行かれる時は、クラブ事務局へ確認をお願いします。
2. 8 月例会の特別措置出席免除願いをメールボックスへ配布いたしました。
提出締切は、8 月末日までとなります。
3. 来週 7 月 22 日は休会となります。ご留意の程お願い致します。



「バーチャル音楽祭のイメージ」

出席

会員数：49名 出席数：25名 欠席数：10名
出席免除者数：4名 特別措置出席免除者数：10名
出席率：71.43%
7月1日修正後出席率：91.67%

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

* 栗原浩之会員

家内の誕生日祝い、ありがとうございます。

* 清水卓治会員

やっと野球が始まりました。

* 澤部利藏会員

池田さん、ありがとうございます。

ニコニコBOX	9,000円
累計	86,380円

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ロータリー初のバーチャル国際大会が革新とつながりのインスピレーションをもたらす

ロータリーWeb・ニュース特集記事より
(<https://www.rotary.org/ja/>)

ロータリー初のバーチャル国際大会には、6万人以上が登録し、1週間にわたるプログラムの視聴者数は175,000人に上りました。新型コロナウイルス流行によってホノルル（米国ハワイ）で開催予定だった国際大会が中止に追い込まれた一方で、大勢の会員が、国際大会の重要な側面である親睦と楽しさをバーチャルで体験しました。

6月20日に開かれた第1回本会議では、1時間15分の間にチャットで19,000件近いコメントが寄せられ、会員が互いに交流を図りました。

マーク・マローニーRI会長は、ホノルル国際大会の中止が苦渋の決断であったことを認めつつ、世界中の会員がつながりを維持し、変わりゆく状況に適応し、危機の中で人びとに支援の手を差し伸べていることにインスピレーションを受けた、と語りました。また、このような異例の状況の中でロータリーが適応し、成長するための異なる方法を模索することを余儀なくされていると述べました。

「今私たちは、クラブでの新しい経験を創り出すことの重要性を実感しています」とマローニー氏。「(ホノルル大会は)ロータリー史上、最も環境にやさしい国際大会にしたいと考えていました。するとどうでしょう。それが見事に実現したのです。飛行機に乗らず、ホテルにも泊まらず、非常に少ないカーボン・フットプリント（二酸化炭素排出量）で、これまでとはまったく違うロータリー国際大会を、今私たちは開催しています」

ロータリー会員の活動分野として「環境」の重要性が増していることを受け、大会の直後、ロータリーは新たに「環境の保全」を重点分野の一つとするこ

とを発表しました。

マローニー氏はまた、自身が会長に就任した1年前、「行動計画」として知られるロータリー戦略計画の目標の一つである「適応力を高める」をロータリーが強調していたことに触れました。「私たちは今、必要に迫られてこの計画を実行しています」とマローニー氏。「例会の枠を超えた参加を広げることによるロータリーの成長について、私たち皆の理解が深まりました」

マローニー氏のほかにも、数多くの世界的リーダーやパートナー団体の代表者が登場し、新型コロナウイルス流行の中でいかに互いが助け合い、結束しているかを語りました。アントニオ・グテーレス国連事務総長は、動画メッセージの中で、社会を弱体化させている問題への解決策を協力して見出す必要性を訴えました。

「ポリオの根絶や世界の人びとの生活向上、恵まれない人たちの苦しみの緩和、そして、より安全で、健康で、平和な世界の実現など、ロータリーの取り組みは変化を生み出しています」とグテーレス氏。

パネルとして参加した世界的な保健分野の専門家らは、ロータリーとパートナー団体がポリオ根絶活動で活用しているインフラが、各地での新型コロナウイルス対応にも役立てられていることに言及しました。

ビル&メリンダ・ゲイツ財団のグローバル開発部門長、クリストファー・エアラス氏は、研究所の検査機能、サーベイランス（監視）、そして数十万人もの保健従事者など、ポリオ根絶活動が有する重要な資産について述べました。

「ポリオ根絶活動が行われている約50カ国のほぼすべての国で、これらの資産が新型コロナウイルスへの対応に生かされている」とエアラス氏。「世界、特に私たちがポリオの追跡を行ってきた貧しい国々が、今その恩恵を受けています。30年以上にわたって築かれてきたポリオ根絶活動のインフラから、私たちは大きな恩恵を受けているのです」

※全文はロータリーwebをご覧ください。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY



池田ゆかり会員（永島医科器械株）よりフェイスシールドを寄贈いただきました。

男性向けLサイズ、女性・子供向けSサイズを1組ずついただき、柴山会員が早速着用しました。